

江津市議会報告会実施報告書

	開催日時	平成27年10月31日(土) 19:00~20:30
	開催場所	浅利地域コミュニティ交流センター
	出席議員	責任者 田中直文 報告者 鍛冶恵巳子 多田伸治 土井正人 記録者 森脇悦郎(石橋孝義,田中利徳,島田修二)
	参加人数	6人
実施内容報告	議会報告	<p>○ 開会あいさつ、自己紹介、式次第の説明</p> <p>◎各委員会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務文教委員会(鍛冶議員)・・・新たに付番される「番号法」とそのセキュリティについて ・ 建設厚生委員会(多田議員)・・・「江津ひと・まちブラザー条例の制定」について。 ・ 予算委員会(鍛冶議員)・・・補正予算額約4億4千万円(中心市街地活性化事業地域医療支援対策事業)などについて ・ 決算委員会(土井議員)・・・災害復旧・定住促進事業などの決算決算認定、決算要望9項目について。
	パネルディスカッション	<p>《地域医療問題について》</p> <p>司会(田中議員): 地方創生・人口減少問題に対処するために地域医療の確保は絶対的条件。市民に安心・安全な医療を提供するには、医師や看護師等の医療従事者が一定数確保されていることが重要。</p> <p>1. 済生会江津総合病院の今後について</p> <p>鍛冶議員: 医師不足は全国どこでも同じ状況だ。島大医学部等で地域枠で医師を育てる体制が必要。病院を地域の拠り所として、地域包括ケア、医療産業の視点で展開が必要。患者さんが減少、高砂病院、白寿園との介護・看護の連携が必要。病院を核としたコンパクトシティ化し、人の集客を図る。病院の空きスペースを有効活用すべき。市役所主張所の機能、健康スタジオ、テナント貸出しなど。</p> <p>多田議員: 最優先課題は医師の確保だ。そのために国・県に強く働きかけて、医師の派遣を受ける。それには病院の規模が大きい方(ベッド数の多い方)が有利。将来的に病院の収入を上げるにもベッド数が一定必要だ。江津市として県に働くべき。</p>

<p>実施内容報告</p>	<p>パネルディスカッション</p>	<p>多田議員：総合診療科の研修医の受け入れが必要だ。総合診療医の受け入れだけでなく、総合診療科の研修医を受け入れて、済生会生え抜きの医師を育てる必要がある。派遣であればいずれ引き上げる。</p> <p>土井議員：医師確保が最優先課題だ。市長も毎週、このために島根大学、鳥取大学へ奔走。議員も9月議会で3名が地域医療問題で質問をし、いろいろと提言もしている。病院経営も苦しいが、中沢病院長をはじめ医師の過酷な勤務状況が続いている。負担を軽減して、2次医療機関として機能を確保する必要あり。済生会と個人病院が連携を密にする。病診連携が必要だ</p> <p>2. 地域医療を考えるうえで市民としてできることは何か</p> <p>鍛冶議員：医師が不足している状況。過重労働を食い止める必要あり。夜間救急を避ける。かかりつけ医が必要だ。子育てホットダイヤルの活用。市民が自主的に予防接種・検診などを受け予防と健康を保持。済生会が無くなると大変だという意識を持ち、みんなで利用し、守り、育てる。</p> <p>多田議員：市民に「悪いところではなく、良いところをほめてほしい」言われるが、そのために済生会自身が今より良くなっている必要がある。院内改革だ。評価が芳しくない。意見箱を設置しているが、その声をきちんと取り組んでほしい。税金を投入しているので、市民に情報開示すべき。どんな助けが必要なのか、病院・行政・市民で話し合いを行うべき。</p> <p>土井議員：済生会自身が院内改革すべきところもあるが、今は市民がどう応援をしていくかだ。江津市出身の医師がいない中で、市外から来ている医者さんに頑張ってもらっている。現状を把握して、市民総ぐるみの応援団になろう。</p> <p>司会(田中議員)：地域医療は市民生活の根幹。済生会は地域医療拠点病院であり、市内唯一の救急医療対応病院である。私たち市民も地域医療の当事者意識をもって、また優良産業の視点からも済生会を支援していく必要あり。</p>
	<p>意見交換</p>	<p>市民：現在使用しているゴミ袋が最後に結び難い。結び紐を長くしてほしい。</p> <p>多田議員：市民生活課へ伝える。材質的には変わってないようだ。ゴミの減量化も考えた配慮も必要だ。</p>

実施内容報告	意見交換	<p>市民：済生会の医師不足の最大の問題点は何か。</p> <p>土井議員：国の制度が変更になった。平成16年から、医局制度から新臨床研修制度に代わり、医師が自分で選択できるようになり、都会へ集中する傾向だ。平成18年度の診療報酬改定により医師・看護師の確保が困難となってきた。地方は泣いている。国の方へは窮状を訴えている。10年したら都会で医師が余るだろう。</p> <p>市民：図書館の建設予定はどうか。</p> <p>土井議員：現時点で優先順位は後の方になる。いま、駅前開発、西部小学校建設、市庁舎改修などの大きな事業が進められてきている。財政的に厳しい。大きな図書館でなく、小さな分館を増やす方法もある。</p> <p>市民：済生会の経営が厳しいので駐車場の有料化はどうか。</p> <p>多田議員：土地は市が貸与している。市民が利用するので、現状の無料で使いやすく利便性を図った方がよい。</p> <p>市民：済生会を市民で支援し、守り育てようということだが、どの様にすればよいのか。</p> <p>多田議員：市議会ですら論議しても難しい。市議会としては意見書の提出すること。県議・国会議員に働きかけ、現状の窮状を打開する必要がある。</p> <p>市民：県が済生会へ財政援助をすべきではないか。</p> <p>土井議員：会長は溝口県知事、支部長は田中前市長となっているが、県も済生会に特化することは難しい。しかし、市を迂回して支援しているし、県知事も医師確保に鋭意努力をしてもらっている。</p> <p>多田議員：済生会は江津だけの問題ではない。石見地方を支えている。済生会がダメになったら、浜田医療センターもパンクする。県知事はドクターヘリがあるから大丈夫と言っているが、もっと西部地域医療のために支援すべきだ。</p>
要望・意見等		
その他特記事項		ごみ袋の件は、提言者へ回答すること。

平成27年11月20日

江津市議会議長 藤田 厚様

地区報告会責任者 田中 直文

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	平成27年11月6日（金）19時00分～20時30分	
開催場所	敬川地域コミュニティ交流センター	
出席議員	責任者 藤田 厚 報告者 石橋孝義、島田修二、坪内涼二 記録者 藤間義明	
参加市民数	13人	
実施内容報告	議会報告	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・総務文教委員会（石橋議員） ・建設厚生委員会（島田議員） ・予算委員会（石橋議員） ・決算委員会（坪内議員）
	パネルディスカッション	<p>・『地域医療確保について『今後に向けて考えることは』</p> <p>石橋議員：6階等の空きスペース有効活用（民間などに賃貸する）また、図書館などもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有名な先生（ゴットハンド持つ）方に来ていただく。 ・病院に健康予防の教室などを設けて活用。 <p>坪内議員：空きスペースの有効活用、ヒットネスなど健康増進に利用してもらうことも必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空いたスペースでお金を生む様に工夫も必要である。健康ビジネスの拠点になる様な活用も必要である。 <p>島田議員：人口減少が石見部が大幅に減少しているのでたいへん厳しい。医師は全国では増えている。県内全体でも増えているが、充足率を出雲部と比較すると石見部が70%代で低い格差あり非常に厳しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後に向けては、県、国に対応していただかないと非常にきびしい。 <p>・『市民として出来ることは』</p> <p>坪内議員：深夜に妻のお産に立ち会った。病院の先生の対応に大変な状況を確認した。2人の先生で対応されて、翌日朝からまた勤務。本当に先生のハードさをわかる事も必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院に対してわれわれが求めることが多い。病院を残すためにも自分達の健康管理をしっかりとすること。 ・病院側に重い負担をかけない様に心掛ける。

実施 内容 報告	パネル ディスカッ ション	<p>石橋議員：病診連携が必要・コンビニ受診を控える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医を持つことが重要。 ・われわれも知縁、血縁などを使い医師の情報提供をしていくことも必要。 ・病院の良い部分を一緒になって宣伝していく事も必要。 <p>島田議員：済生会の現状認識を持つことが大事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が病気にならないことが必要。 ・済生会の診察メニューが分からない、総合病院なのにいつどのような診察があるのかわからない。済生会にも努力していただいて、はっきりした診察メニューが必要。市民に分かる様にしていくことが必要。 ・現状を理解して上手に付き合っていくことが必要である。
	意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・二宮（森川）：私が市民何人かの方に聞くと済生会に行くという気に中々ならないと聞くことが多い。 公立病院でないので難しかもしれないが市民が行きやすくするような工夫が出来ないか。 ・公的病院ではないので公立病院の検討は市でなく議会としても議論されるべき時期ではないか。 ・産婦人科の研修医制度での予算編成をしていただく様にすることは出来ないか、江津に来れば安心してお産が出来るする事がまた、活性化につながる。 <ul style="list-style-type: none"> ・島田議員：病気以外で行きやすくする様な工夫が必要、病院経営なので、議会としてどこまで介入していけるか難しい問題なので、特別委員会があるのでその中で意見を言っていきたい。市執行部へは意見があった事は伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・石橋議員：公的病院ではないし、独立採算なので医師派遣もグループからの派遣も難しい。議員としてこのまちから病院をなくさないためにどうしたら良いかいろいろ研修も含め検討しているがまだ見えてこない。議員と市民も一緒になって考えて行くことも必要だと思います。

<p>実施内容報告</p>	<p>意見交換</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・坪内議員：医師の負担を少なくする工夫をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・医師の確保は県主導でやっていく必要があるので議会、市民から声を上げていくことが大切だと考える。 ・二宮（深野）：公共バスが空で走っている、かたや済生会病院に行くのにタクシーを使って行く、医療費より高くつく。 議会として今の方法をあらためるべきと提案すべきでは、 例えば、何人かで乗ってタクシーで行く、これに補助を出すべきではないか議会の検討と市に働きかけができないのか。 ・石橋議員：石見交通の現状でほとんど乗っていない便もあるのも現状である。足の確保のために助成金も出しているのに、効率的になる様検討していく時期だと思っている。 われわれも勉強して来ているので提案して見たいと思っている。 ・坪内議員：交通弱者に対してしっかりして、やっていかなければならない。 すべてのニーズを対応するのはなかなか難しいのかなと思っています。 石見交通の様な大きなバスを、走らせなくてもいいのかなと思っている。今日の意見を議会としてもしっかりと議論をしていかなければと思っています。 ・島田議員：人口減少の中、今年度中に公共交通計画を作成される予定なのでしっかり言う。
	<p>要望・意見等</p>	
	<p>その他特記事項</p>	

平成 27 年 11 月 18 日

江津市議会議長 藤田 厚様

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	平成27年11月8日（日）19時00分～20時30分	
開催場所	嘉久志地域コミュニティ交流センター	
出席議員	責任者 藤間義明 報告者 藤間義明 記録者 坪内涼二	
参加市民数	11人（その他・・・議員3人、事務局2人）	
実施内容報告	議会報告	<p>1部</p> <p>① 開会挨拶、自己紹介、レジメ紹介、9月定例会の説明</p> <p>② 各委員会報告 総務文教委員会、予算委員会・・・森川佳英委員 建設厚生委員会・・・・・・・・・・河野正行委員 決算特別委員会・・・・・・・・・・永岡静馬委員</p> <p>2部：パネルディスカッション テーマ「地域医療について」</p> <p>*「済生会江津総合病院の今後に向けて考えられる事」について</p> <p>永岡委員・・・イ、今後は総合診療医を招へいすることを考えていかなければならない。</p> <p>河野委員・・・イ、診療科目を限定する。 ロ、300床のうちリハビリ、予防等病床を検討する ハ、済生会版ふるさと納税を考える。</p> <p>森川委員・・・イ、病院の機能をフル稼働する。 ロ、魅力ある病院を創る・・・優れた石を招へいし全国に発信する。 ハ、若い医師をの要望を聞く。</p> <p>*「地域医療を考えるうえで、我々市民として出来ることがあると思いますがどのように考えるか」について</p> <p>永岡委員・・・イ、①病院に感謝の気持ちを持つ。②かかりつけ医を持つ。③コンビニ受診を控える。④自分自身健康管理をする</p> <p>河野委員・・・イ、病院に対して応援するような温かい気持ちを持つ。</p>

	<p>森川委員・・・イ、決算書を開示してほしい。未収金1億円、不納欠損5億円等改善しなければならない。</p> <p>ロ、患者中心の対応を心がけることが必要。</p>
意見交換	<p>市民1から①「生活交通バスをニーズに合った体制にしてほしい」②「子育て支援として中学生までの医療の無料化してほしい」との質問がありました。</p> <p>委員からは①については「市は石見交通やJRを基本としている」「難しい問題である」「タクシー、バス会社の調整が必要」②については「無料化の金額は2～3千万円なので行うべき」「市は江津独自の子育て支援をおこなっている」「無料化すると金額2～3千万円が毎年かかるので難しい」との話しをしました。</p> <p>市民2から「医師不足に3億円のお金をつかっている。教育にお金を使っていくべきでは」との質問がありました。</p> <p>委員からは「ふるさと教育を行っている」「今医師確保は重要。教育は長い目でみてほしい」「医療、教育を守っていく」との話しをしました。</p>
要望・意見等	
その他特記事項	ありません

平成27年11月23日

江津市議会議長 藤田 厚 様

嘉久志地区報告会責任者

藤間義明

㊞

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	27年11月14日（土）19時00分～20時30分
開催場所	江津市コミュニティセンター（桜江町）
出席議員	責任者 森脇 悦朗 報告者 藤間 義明 永岡 静馬 田中 利徳 記録者 田中 直文
参加市民数	6 人
実施内容報告	各委員会報告 総務文教委員会・・・条例改正案の説明、休会中調査事項の説明（公共施設について、地域コミュニティについて、サタデースクールについて） 建設厚生委員会・・・「江津ひと・まちプラザ条例の制定について」、「手数料条例改正について」の議案説明 予算委員会・・・スライド写真に基づき主な9月補正予算内容説明、他IT支援事業について 決算特別委員会・・・現地調査、監査委員報告、次年度要望について説明後、スライド写真に基づき説明
	パネルディスカッション 「地域医療について」 1. 済生会江津総合病院の今後に向けて考えられることは。 藤間： 現状は厳しいが、優良な雇用先となっている。病院があることで企業進出も進む。市民の皆さんに考えてほしい。 永岡： 伊関先生の話で、過酷な状況下で地域医療を支えている。医師の確保については、都会部へ流れ大変厳しいが、市・議会も全力で取り組んでいる。生き残るためには、総合診療医を育成することが大事。地域ビジョンを踏まえ浜田圏域の中で考える必要がある。医師が減少すると経営が悪化するが、同時に今後機材器具の更新もあり、市の支援は必要。 田中利： 済生会のアドバイザーの経験から言えば、元気な楽しい職場にすべき。横断幕でも掲げたらよい。教育、特に義務教育が大事で、地元出身の医師を育てる必要がある。 司会： 経営は大変だが、中核病院として無くなっては困ると思う。 2. 伊関教授は、住民も地域医療の当事者、人任せでは地域医療が崩壊するとしていたが、地域医療を考える上で市民としてできることは何か。 藤間： 市民も済生会に対して意見を言うことと、医師・看護師に感謝の気持ちを伝えてほしい。かかりつけ医を持つ必要がある。医師・看護師確保について情報があったら市へ連絡して欲しい。

	<p>永岡：感謝の気持ちを市民ももつべき。電子カルテの整備により病診連携を進め、済生会の負担を和らげる。コンビニ受診を避ける。本市は平均寿命が低い現状から生活習慣を改善し、健康診断、ポイント制の導入など健康寿命を延ばす健康増進対策が必要。</p> <p>田中利：人のつながりにより本市出身の医師・看護師確保につなげる。応援体制をどう作るかが大事であり、市民総参加の応援団のしくみ、攻めの施策により、盛り上げる必要がある。</p> <p>司会：様々な意見があったが、市民の皆さんの健康意識を上げて病院にかからないようにすることも、医師の負担を減らすことにつながると思う。</p>
<p>要望・意見等</p>	<p>○独居世帯が多く救急医療に不安がある、充実を願う。また、U・I ターン者が安心して産み育てる環境のため小児科の充実が必要と思う。</p> <p>・・・おっしゃるとおり周辺部は救急車に頼っている。これからは地域包括ケアにより、ICT（スマートフォン）、訪問看護などにより安心して出産できる環境づくりは必須。全力を挙げて確保に努力する。</p> <p>○健康寿命を延ばす取り組みが必要、市議会でも取り上げてほしい。また、鹿賀からは病院に行くのは大変、圏域の中で病院の専門的なすみわけが必要では。</p> <p>・・・事業所に入り健康診断を進めるなどしている。建設厚生委員会での行政視察で、サークル、自治会、PTA などグループ単位で健康寿命を延ばす制度を勉強してきた。これから議会も意識付けしていく。認知症対策の取り組みも嘉久志では行っている。全市でも取り組む必要がある。</p> <p>済生会ではこれからの超高齢化社会を考えると内科・整形は必要。救急を考えると外科も充実すべきであり何らかの支援が必要となる。</p> <p>○三江線の問題について議会の動向は。</p> <p>・・・市からの情報は共有している。期成同盟協議会には議会も関わっている。JR 西日本へ話をしに行くことは聞いている。沿線の自治体の議会で三江線を守る議員連盟を結成している。廃止ありきではなく存続の方向で協議を進めている。</p> <p>○済生会について高砂や白寿園もあり環境としては良いと思う。もっとアピールが必要では。議会報告会について参加者が少ない状況は改善して頂きたい。</p> <p>・・・貴重な意見ありがとうございました。</p>

その他特記事項	<p>アンケート結果</p> <p>1.パネルディスカッションのテーマは。</p> <p>○地域医療は重要な問題であり良かった。</p> <p>2.次回、報告会に参加したいと思いましたが。</p> <p>○遠距離になるとむずかしいが、できるだけ参加したい。</p> <p>○議員の考えがよく聞けた。</p> <p>3.その他お気づきの点</p> <p>○参加者6人は少なすぎる。地元（川戸）の参加者が必要と思う。</p> <p>○市民意識が低いのだが、もう少し呼びかけが必要では。</p> <p>○初めての参加だが、参加者がもっと増えればと思う。市民の危機意識が低いのではと思う。</p> <p>○多くの市民の参加があればよい。</p>
---------	---

27年 11月 20日

江津市議会議長 藤田 厚 様

地区報告会責任者 森 脇 悦 朗 ㊟

H27年10、11月議会報告会 アンケート意見結果

議会報告会アンケート

平成27年10～11月

会場	開催日・開催時間は良かったですか			委員会報告は分かりやすかったですか			パネルディスカッションのテーマは良かったですか			議員個人の意見や考えを知ることができましたか			次回、議会報告会にも参加したいと思いましたが		
	よかった	よくなかった	どちらでもない	分かりやすかった	分かりにくかった	どちらでもない	よかった	よくなかった	どちらでもない	分かった	分かりにくかった	どちらでもない	思った	思わなかった	どちらでもない
東部 (浅利)	0	0	2	1	1	0	1	0	1	0	0	2	0	0	2
西部 (敬川)	4	3	2	6	0	2	6	0	3	6	0	3	8	0	1
中部 (嘉久志)	6	0	4	4	1	4	4	0	3	6	1	1	9	0	1
南部 (桜江)	4	0	2	5	0	1	5	0	1	3	1	2	5	0	1
計	14	3	10	16	2	7	16	0	8	15	2	8	22	0	5

1. 開催日・開催時間は良かったですか？

《中部》

- ・日曜日なので、勤務も休みの人が多くて、よく参加できる条件がそろっていた。
- ・夜は集まりにくいと思う。
- ・寒くなくよかった。

《西部》

- ・文化祭とバッティング
- ・敬川町の文化祭の準備日とかさなったから(どちらでもない)
- ・文化祭の前日だったため(よくなかった)

2. 委員会報告は分かりやすかったですか？

《中部》

- ・自分自身の知識不足もあり、理解できない部分もあった。

《西部》

- ・自分の勉強不足かも

《東部》

- ・質疑等があってもよいのではないか。

3. パネルディスカッションのテーマはよかったですか？

《中部》

- ・地域医療の問題点がよく理解できた。
- ・もっと具体的にどうするかが必要。

《南部》

- ・地域医療は重要な問題です。

《西部》

- ・テーマの分析と課題解決のための切迫感が低い。一般論に終始している。
- ・どんな仕組みに変えていくのか具体論がない。
- ・本来の目的を見据えた議論を期待します。
- ・長かった。
- ・意見を言う機会がなかった。

《東部》

- ・議長として、どの パネラーからの話があってもいいのではないか。

4. 議員個人の意見や考えを知ることができましたか？

《中部》

- ・予算が伴うから、市長がしないから。本人の意見は？
- ・会派に関係なく、それぞれの議員さんが真剣に江津市の問題を考えられ、施策を練っておられる事がよく理解できた。

- ・少しわかった。

《南部》

- ・少し時間が短いため(分かりにくかった)。

《西部》

- ・建設的取り組みに一層、今後とも取り組んでいただきたい。
- ・議員の話が直接聞けたこと(がよかった)

5. 次回報告会にも参加したいと思いませんか？

《中部》

- ・市政に関心を持った。
- ・参加する人が少なすぎますので考えます。
- ・もう少しわかる人を集める事が大切ではないかと思えます。
- ・有権者の一人として、市政について直接話を聞く事が出来たので、次回もぜひ参加したいと思った。
- ・議員の意見は聞くべきだ。わからなければ質問する。

《南部》

- ・出来るだけ参加したいとは思いますが、あまり遠距離になるとどうも・・・。
- ・議員の考えをよく聞けた。

6. その他お気づきの点など

《中部》

- ・質問と回答 議員の意見は？ 議会の事のみではないはず。
- ・色々問題が多くてどの様に意見を書けばよいか迷った。
個人ではかかりつけ医に何十年かかっている。

個人的にも健康寿命を延ばす為に努力している。

- ・多くの人に参加してほしい。
- ・もう少しわかる人を集める事が大切ではないかと思います。
- ・市政に無関心…参加者が非常に少ない残念。

何か人を集める工夫が必要なのではないか。

- ・せっかく開かれた議会報告会なのに、住民の参加が少なくて残念でした。

ご多忙の議員さん方が多数来場されたのに申し訳ない気がしました。

《南部》

- ・多くの市民の参加があれば良い。
- ・初めて参加しましたが、参加者がもっと増えればよいと感じました。
- ・市民の危機意識が低いのでは？と思いました。
- ・もう少し呼びかけが必要ではないか？
- ・人が少ないので市民の意識が低い。
- ・参加者 6 人は少なくておどろいた。特に地元(川戸)の人の参加が必要と思います。

《西部》

- ・議員提案出来るように議員間での課題、対策案の共有化出来るように意識改革を更に進めて頂きたい。

単なるチェック機能ばかりではなく対案を示してほしい。

- ・議会の内容を聞けたが、議会としてどうするのか、提案が出るのか、今後検討されたい。
- ・企業の誘致について(雇用問題)

《東部》

- ・もっと出席者提出の問題をとりあげて議員の意見を聞きたい。
- 一方的議員(議会報告)ではもりあがらない。